

事業名

八百津町 権利擁護啓発講座

～今日から始める自分らしい未来設計～

主催

八百津町役場健康福祉課／八百津町地域包括支援センター
特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル／サントピアみのかも

日時

令和 7年 9月 29日(月) 13:30～15:00

場所

錦津コミュニティーセンター きらり
2階研修室

講師

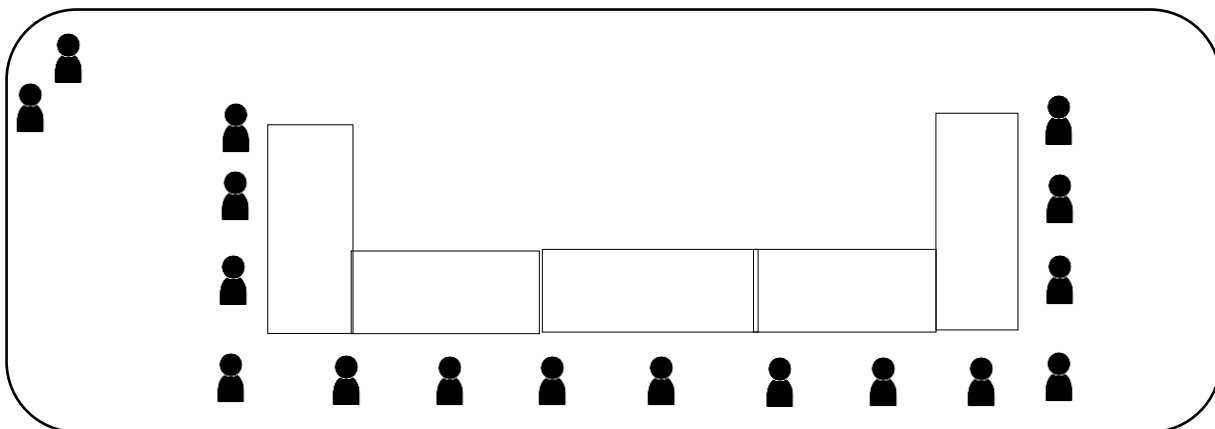
認知症予防専門医 森藤 豊
もしふじ ゆたか



活動報告

ホワイトボード

講師



<講演会（座談会）について>

この座談会は、医師からの「認知症に関する講話」にて開始。その後、全体をいくつかのグループに分け、参加された皆様に『日頃の悩みや症状で気になること』をテーマに話し合う時間をつくり、進めていく。

その後、各グループから出た意見を、講師（森藤Dr.）へ直接、投げかけて...その場でセッション（受け答え）する！！という贅沢な時間を提供。

どの回も、非常に活発な意見（熱い想い）が飛び交っていた会場内。『質疑応答も多く、大変有意義な時間でした。』と講師自身も振り返っておられた。

<基本的な感染対策について>

会場の定員数はソーシャルディスタンスが保てる座席配置を考慮して設定しておりました。

また参加時のマスク着用徹底、受付での検温や問診なども実施しています。

換気を行いつつ3密を避けた会場でした。



参加者

20 名

(含む 運営スタッフ)

(権利擁護啓発講座)
終活セミナー
～今日から始める自分らしい未来設計～

時間：13時30分～15時00分

※受講無料・申込不要



テーマ	講師
1 9月16日(火) 会場：ファミリーセンター 2階 講義室 自分自身のこれからを考える ～アドバンス・ケア・プランニング ACP(人生会議)～ 自分の意思を親しい人に伝えておくことって必要なの？	精神保健福祉士 白井潤一郎氏 白井福祉 総合研究所 株式会社
2 9月29日(月) 会場：錦津コミュニティセンター-きらり2階 研修室 【座談会】 もっと知りたい認知症のこと レカネマブ(新薬)の効用とMCI講座	医師 森藤 豊氏 のぞみの丘 ホスピタル
3 10月9日(木) 会場：ファミリーセンター2階 研修室1,2 契約行為について 契約行為で気を付けること、失敗しないポイント	弁護士 山科正太郎氏 関あさくら 法律事務所
4 10月31日(金) 会場：錦津コミュニティセンター-きらり2階 研修室 専門家から学ぶ 遺言書の書き方とQ&A	公証人 薦 啓一郎氏 美濃加茂公証役場

※全4回受講されると、より理解が深まります。

八百津町役場 健康福祉課
八百津町地域包括支援センター 電話43-3267

権利擁護啓発講座
終活セミナー

～今日から始める自分らしい未来設計～

○目的：20年後の自分を見据え、人生の転換期において必要となり得る事柄を講座として学ぶ。

○対象者：判断能力があり、自分で考える意思がある高齢期の住民
(65歳～75歳前後の住民)

○内容

・権利擁護の啓発のために認知症の正しい知識を理解し、現状を知り、自分事として考えてもらう機会を持つ
・意思決定の観点とACPから自分のことは自分で決めていけるような体制を周知していきたい。そのために、未来の自分を見据えて意思決定を周知啓発

・市民後見人育成のため成年後見制度や権利擁護・意思決定支援について広く周知する

○ほか

成年後見制度利用支援事業であるが、在宅医療・介護連携推進事業及び認知症予防普及啓発事業にも係る事業

①ACPについて(精神保健福祉士 白井潤一郎氏)

ACPについて周知。まずは基礎部分の理解啓発、ACPはなぜ必要か

②認知症について(精神科医 森藤 豊氏)

認知症薬(レカネマブ)の効用とMCI講座
参加者と近い距離の座談会形式で実施

③契約行為について(弁護士 山科正太郎氏)

契約行為で気を付けること・失敗しない契約のポイント

④専門家から学ぶ遺言書の書き方(公証人 薦 啓一郎氏)

遺言書の書き方とQ&A

自分のことは自分で完結できるように意識付ける

終活セミナー
～今日から始める
自分らしい未来設計～
(第2回)
もっと知りたい認知症のこと
【座談会】
レカネマブ(新薬)の効用とMCI講座



2階 研修室 13時30分～

